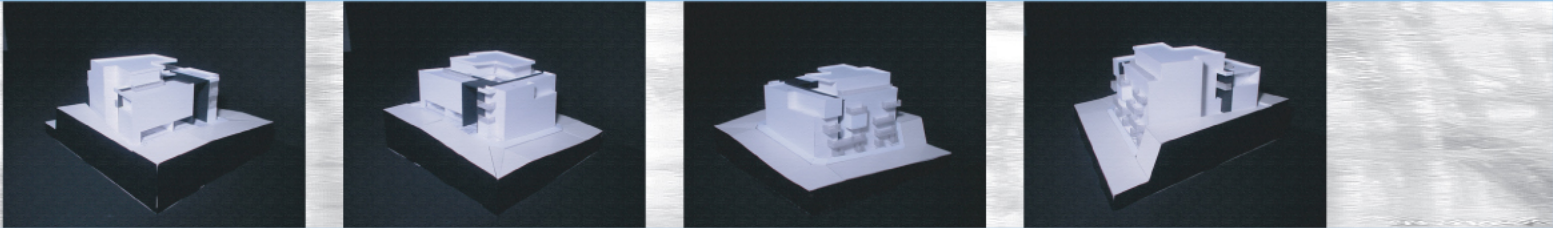




TAMA PLAZA COOP-HOUSE 2006 Design note

建築のイメージ
(細部は実際と異なる場合があります)



周辺環境のイメージ

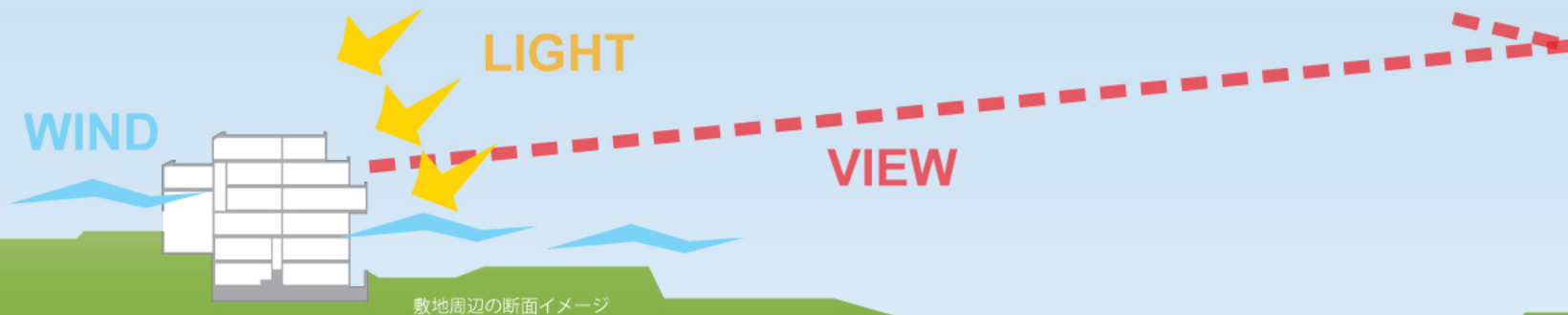


恵まれた環境で上質のコーポラティブハウスを

今回の計画地は、上質な住宅地であるたまプラーザ地区の緩やかな丘の上に位置しています。

眺望に優れ、光に溢れ、爽やかな風が通り抜ける大変恵まれた環境の中で、コーポラティブハウスの本質をとことん追求してみました。

理想の住まいを一緒に描いてみませんか？



敷地周辺の断面イメージ

敷地を読む

良好な環境を最大限に活かす

敷地は計画的に開発される大規模な土地区画整備事業区域の一角に当たるため、建物が密集した街などに建設する場合は違い周囲の環境には比較的ゆったりとした良好な雰囲気となるのが予想されます。中でも緩やかな丘の上に位置する敷地には優れた眺望、明るい陽射し、爽やかな風が期待できます。こうした良好な環境を最大限に活かせるように、設計に取り組んできました。

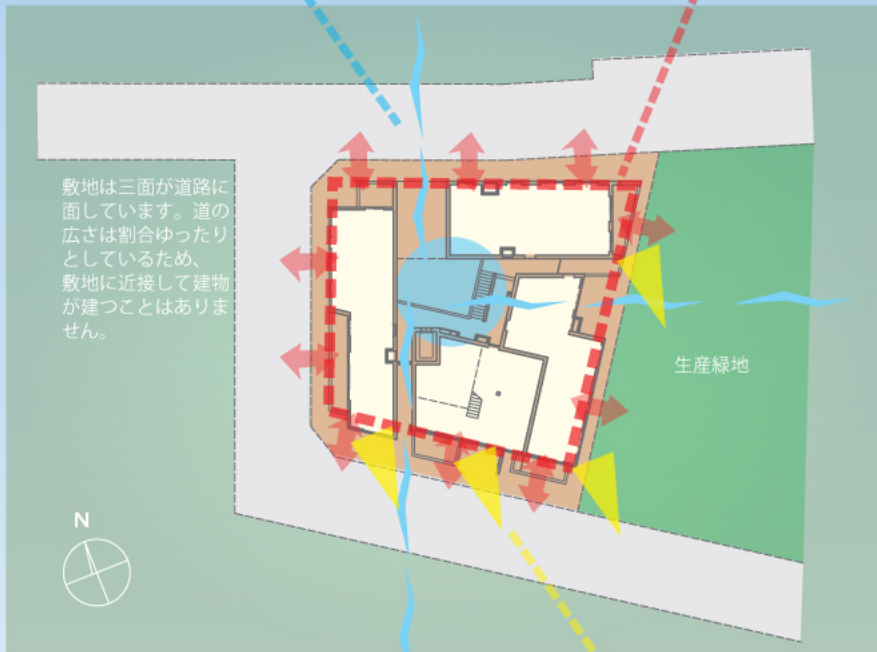
敷地を囲むような建物の配置

建物が敷地を囲むような配置とすることで、各住戸が周囲の良好な環境を大きく取り込むことができます。このことは住戸内のプランニングを行なう上でも大変有効に作用します。



風みち

建物に光や風の通りみちを作り、それが中庭につながることでいつも自然を身近に感じられるようにしています。



南に向かって開かれた住戸配置

すべての住戸が南面開口をもつように配置を工夫しています。

戸建感覚で住もう

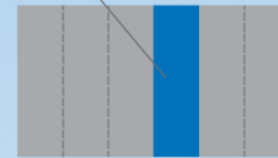
コーポラティブハウスにふさわしい建築フレームの提案

今回の計画では、コーポラティブハウスの大きな特徴である「フリープラン」をよりよく実現するために、建築自体にさまざまな工夫を凝らしています。建築の配棟計画、住戸の配置、構造の工夫 etc・・・これらの積み重ねによって住戸の独立性を高め、住戸ごとに特徴のある空間の実現を図り、一般のマンションにはない戸建感覚あふれる住まいの実現を目指しました。

エントランスから中庭に入ると、風みちから爽やかな光と風が通り抜けます。風みちは同時に、各住戸の独立性を高め、特徴のある住戸空間を作り出します。



住戸に挟まれるためにプランの自由度が減少してしまいます



開口の位置は大体決まってしまう

短冊割り縦長タイプの住戸配置

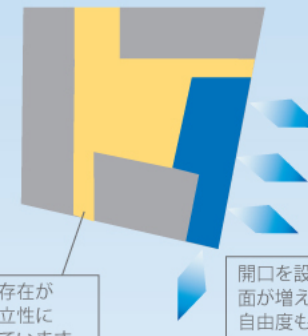
一般のマンションに良く見られる、直方体の建物を短冊割りするような住戸配置の場合、開口はバルコニー側と廊下側の二面に限られてしまい、その幅も制限されてしまいます。角住戸以外は両側を他の住戸に挟まれているため、独立性の低さは否めません。また、居室の採光を取るためには水まわりを住戸の中央に配置せざるを得ないため、予めプランが決まっている分譲マンションならば良いのですが、フリープランが前提のコーポラティブハウスにはどちらかといえば不向きな住戸配置と言えるでしょう。

そこで…

囲み方横長タイプの住戸配置

そこで、敷地をぐるっと囲むように配棟して、住戸が横長に配置されるように割ってみました。開口を設けることができる面がかなり増えています。そのため、採光が必要な居室の配置の自由度も広がることとなります。フリープランが実現しやすい住戸配置と言えるでしょう。さらに、住戸間に「風みち」を設けることで、住戸の独立性を高めました。構造的には、柱や梁ができるだけ表にあらわれないようにして、プランへの影響が小さくなるように工夫しています。

風みちの存在が住戸の独立性につながっています。



開口を設けられる面が増えプランの自由度も増します

プランの自由度・戸建感覚・環境の取込…etc.

街の景観を創っていく デザインの発信と 建築のエイジング

今回のプロジェクトは新しい街づくりの一角を担うこととなります。ですからデザインを街に向けて発信することで、新しい街の景観を創っていくのではないかと思います。

そこでコーポラティブハウスならではの新しいデザインと、時と共に深みを増していく建築のエイジングをご提案します。



コーポラティブハウスにふさわしい建築デザイン

特徴ある配棟計画による建物の外形と、個性的な住戸内プランによって不規則に開けられるさまざまな大きさの開口。これらから形作られるコーポラティブハウスならではの外観デザインが、新しい街に爽やかな風をもたらすことでしょう。

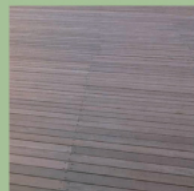
建築のエイジング

建築ができたばかりのときの美しさは時とともに少しずつ失われていきます。それは避けることのできない宿命ですが、一方で歳月を経ることでしか得ることができない風合いのようなものが少しずつ堆積していき、やがて違う種類の美しさを見せるようになります。私たちはこれを、建築のエイジングと呼びます。古びることによってより深みを増していく良さというのがあるのです。

今回、外部仕上材として選定している左官材やデッキ材などは、ほんの少しこまめにメンテナンスを施すことで、やがてすばらしい風合いを帯びていくことでしょう。それは皆さんの愛情や記憶が積み重なって醸成される空気感のようなものでもあります。そのような美しい結晶がこの建物から街へと広がり、歴史を刻んでいくことを願っています。



左官仕上げイメージ



外構デッキイメージ

RC 耐震壁付きラーメン構造 (RC 薄肉ラーメン構造) 自由度の追求と安全性の確保

今回の特徴ある建物のプラン形状と、コーポラティブハウスのコンセプトを考慮し、最適な構造形式を入念に検討してきました。

さらに昨今の時代背景を受けて、安全性の確保には特に万全を期しています。



RC 耐震壁付きラーメン構造の概念図

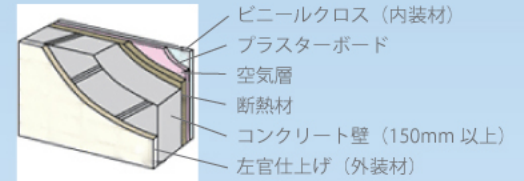
鉄筋コンクリート造の壁式構造とラーメン構造の長所を併せ持ちます。柱と梁が、壁や床スラブの中に含まれるようなイメージです。

各部の構造

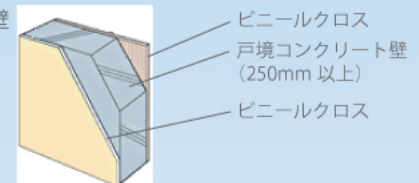
構造形式の特徴から戸境のコンクリート壁は 250mm 以上と十分な厚さとなるため、結果として隣戸との遮音性に配慮した形となっています。

床は振動を吸収する支持脚の乾式二重床を使用することで、遮音性能を確保します。(フローリング仕上为前提ですので、これ以外の仕上オプションを採用した場合には、更に何らかの対応が必要となる場合があります。)

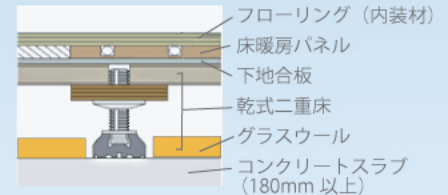
外壁



戸境壁



床



構造の特徴

この構造は、鉄筋コンクリート造で、耐震壁付きラーメン構造という形式になっています。特徴的なのは、扁平な柱や梁が壁や床の厚さの中に納まっているため、原則として部屋の中に柱形や梁形がほとんど出っばらないものとなっています(一部例外があります)。この形式は薄肉ラーメンとも呼ばれます。

柱や梁が室内に出っばらないので住戸内プランの自由度が上がります。また、躯体の中で、柱や梁がある程度自由に移動できるため、プランに合った開口位置の調整にもかなりのレベルで対応可能です。これらの点で、コーポラティブハウスに適した構造形式とも言えます。

地震に対しては、耐震壁が多く配置できるので剛強な構造となっており、十分な安全性が確保されています。

佐藤淳構造設計事務所 佐藤 淳